

三陸地域中部市町村毎の産業連関

平成29年地域政策研究センター地域協働研究【ステージ I】採択課題

課題名：三陸地域における観光の地域経済への波及効果のための産業連関表の作成

研究代表者：総合政策学部 教授 Tee Kian Heng

課題提案者：公益財団法人 さんりく基金

研究メンバー：公益財団法人 さんりく基金

キーワード：産業連関表、産業別事業所数・従業者数、県市町村内総生産

▼研究の概要（背景・目標）

観光が地元にとどのように経済波及効果をもたらすかを分析する必要がある。これらの分析は産業連関分析を用いることにより、分析が可能となる。岩手県では平成23年の岩手県表と平成12年の盛岡市表しかなく、その他の市町村表や最近の広域表は作っていない。そこで本研究は産業連関表の作成を試みる。

▼研究の内容（方法・経過）

対象地域：三陸地域中部（宮古市・山田町・大槌町・岩泉町）【推定イメージ:図1参照】

中間投入・中間需要・粗付加価値の推定：

(1)対象地の産業別生産額の推定：産業別従業者数の県における対象地の割合で岩手県の平成23年版産業連関表で按分する。

(2)中間投入・中間需要・粗付加価値の推定：県の投入表と同じ割合で(1)を按分【1次推定】する。

(3)県市町村町内総生産を用いて、(2)粗付加価値を補正、併せて(1)総生産額を補正【2次推定】する。

最終需要項目の推定

(4)消費について県に対する対象地の人口比、公務員比、公立学校比、世帯数比を用いて推

定、投資について県に対する対象地の投資的経費比、就業者数比を用いて推定、移輸出について県に対する対象地の就業者比を用いて推定、移輸入について県に対する対象地の人口比を用いて推定する。

(5)中間需要+最終需要=生産額（行）、(3)【生産額（列）】と同じ値になるよう、移輸出入、各行の最終需要で調整する。

▼研究の成果（結論・考察）【例：宮古】

- 1.図2から移輸出型特化している産業がないことがわかる。
- 2.完成表は産業別観光消費の経済波及（直接効果、間接一次波及、間接二次波及等）の算定の基礎となるものである。
- 3.留意点：移輸出入による調整を行っていることから分析結果に影響を与えている。

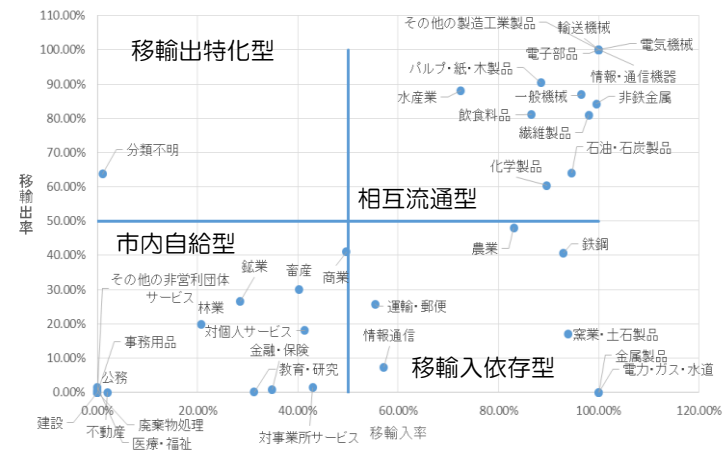


図2 宮古市の移輸出入率【36産業部門表】

(図1 産業連関表の推定イメージ)

	中間投入			中間需要合計	最終需要					生産額(行)	
	第1次産業	第2次産業	第3次産業		費計外消(行支出)	消費(民間、政府)	総固定資本形成(公的、民間)	在庫純増	移輸出		-移輸入
中間需要	農林水産業部門	製造業・建設業等部門	サービス業部門								
粗付加価値	(2)-1 中間投入・中間需要の推定										
	(2)-2 粗付加価値の推定 →(3)-1粗付加価値の補正										
生産額(列)	(1)産業別生産額推定→(3)-2産業別生産額の補正										(4)最終需要の個別推定

生産額(列)と生産額(行)は同じ値になるように移輸入、移輸出、最終需要を調整する。